THE WOMAN'S WEEKLY

第貳巻 第四十六號

大正五年十一月十日發行（毎週金曜日發行）

大正四年十一月九日 第三種郵便物認可

婦人週報

本號目次

□婦人記者倶樂部の設けた制裁……小橋三四子
□訪問先と記者……同前
□時事週評
□存娼か廢娼か……市川源三
□一人一評＝山脇玄……エム、ん、イ
□蘇生の喜びを樂壇に奏する 久野女史……民子
□田園の秋……廣田花崖
□職業案内 女醫になる迄……吉岡彌生
□儉約物語 氷砂糖の茶菓子……齋藤浩
□女中の撰び方……佐久千代子
□近來流行の瓦斯ストーブ……近藤耕蔵
□我が家の經濟料理……川口▲子
□黄蜂と蜜蜂……花生
□小說 暗調……高田てい子
□讀者から……新刊紹介
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘 郵送料五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

世の進歩につれて皆様方の化粧品に對する御要求も變遷しつゝある事を信じます。弊店は最近歐米に於て化粧品界に革命を與へつゝある、**化學的に根本より色を白くする過酸化水素の漂白消毒力**を利用して製出した**絶對無脂肪性クリーム**をお薦めする事を無上の光榮と致します。

粧けた氣持は爽かで
本當に色を白くするは

オキシナー

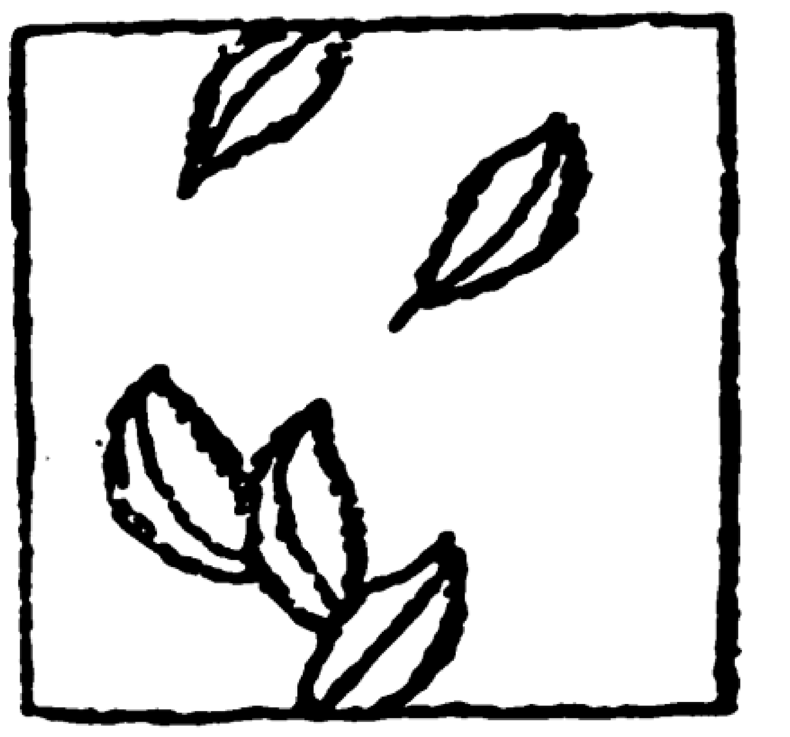
品質本位

定價	
大	四十錢
小	二十錢
送料	内地各四錢 郵劵代用一割増

發賣本舖
東京赤坂溜池
オキシナー商會
電話新橋三六二六
振替東京三四〇〇九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人記者倶樂部の設けた制裁



□婦人記者倶樂部の成立

婦人記者倶樂部は、昨年の五月頃、婦人矯風會に於て、廢娼運動開始に付き、各新紙の應援を求めんが爲めに、記者を招待したる席上、申合せたやうに多數の婦人記者の出席したるを見て、圖らずも一二の發起者の言によつて結ばれた會合であります。其の後暑中を除いては、月々會合が開かれ、多忙の人々が小閑を得て談笑の間に、經驗を交換したり、互に意見を發表し合つたりして居りましたが、過る七日には、別項記載の如く近來稀れなる多數の會合を見るに至りました。

□心强き制裁

席上某誌に掲載された某博士の保守的な婦人職業論が、議論の的となりました。其の結果一つの制裁が設けらるゝやうになり「婦人の進歩を妨ぐる人の説は同盟して成るべく書かぬこと」と申す事になりました。これは別段形式張つた契約を結んだ譯ではありませんが、日本に行はれた婦人の制裁中、最も心强きものであると感じられました。歐米に於ては、婦人界の指彈を招いた男子は、社會に起てないと申す程、婦人が有力な制裁力を持つて居りますが、日本の從來の如く婦人が無力であり團結心が乏しくては、婦人によつて制裁を作る事も、輿論を起す事も出來ませんでした。婦人記者の持てる特權は、未だ甚だ大ならずと雖、十人の筆は、紙上を通して幾十萬の讀者に注がれるので、從つて其の力の及ぶ範圍は決して尠なからずとするのであります。

□特權の濫用を謹む事

一二の人の意見は、時に感情好惡によつて支配され、公平を缺く事がありませうが、既に十人内外の會議になれば、甲論乙駁で、比較的洗練され、制裁すべき事項に誤りが少なからうと思はれます。筆に口に、或は位置に、特權を持てる者が、私心によつて之れを濫用する程、憎むべきものはあるまいと思はれます。王者の位置にある者は、寬容、仁慈、公平等、王者の心を持たなければなりません。無冠の覇者と云はるゝ記者には、またそれに相應した修養を須つのは、當然であります。

□進歩の雰圍氣を作る爲

婦人問題も男子の立場から云へば、種々異論もありませうが、眞實に婦人の進歩と幸福とを希ふ者からは、既に後ろを顧る必要はなく、前進する道を如何にすべきかゞ、最も重要なる問題であります。而してこの道の最も大なる妨げは、男子の感情にまつはる舊き婦人觀であります。説としては進歩的な議論を吐く男子が、我が妻、我が娘、延いては實際の婦人の出來事に對しては、依然として舊來の儘の取扱ひをしやうとするのは、感情上から出づる事が多いのであります。其の舊き感情を一掃する爲めに、出來る丈け、輿論を喚起して、進歩の雰圍氣を作る事が大切であり從つてなほ婦人に壓迫を加へんとする説に制裁を加ふるは怠るべからざる事であります。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□婦人界進歩の現象

兩三年迄は、誠に寥々たりし婦人記者も、今日は各社殆んど置かぬ所はないといふ有樣となり、しかも會合を開けば勇んで出席する樣は、婦人界の進歩を語つて餘りあるものでありますが、これ等の會合が有名無實に終らず、力強き制裁と、輿論を喚起するに足る丈けの實力を備へ得るに至つた事は、婦人界の爲めに祝賀すべき事であります。婦人記者倶樂部の自重は、一般婦人の必ず切に祈る所でありませう。（三四子）

訪問先と記者

新聞記事を事實に忠實ならしむる爲

新聞記事は近來、事實に忠實ならうとする傾向になつた事は喜ぶべき事でありますが、訪問記事等に往々想像の話を書かれたと云つて訪はれた方では怒り讀んだ方では新聞記事は兎角僞が多くて困ると云はれます。殊に婦人訪問記にそれが多いやうでありますが、もしこの弊風を成るべく尠くしやうとならば、もつと一般の人が新聞記者に平氣で會つて、よく打解けて話す事です。記者と聞くと先づ防禦の態度になつて、あゝ云はれてもこう云はれても成るべく物を云はないやうにしやうとする、記者の方では書くべき事がなければ、仕方なしに自分の云つた事や、想像迄を先方の話として捏ち上げて終ふのです。書く方でも頭から出すのには骨も折れませうし、眞實ならぬ話を書いて心地よい筈はないのです。一般の人が記者に對する偏見を去り、記者も亦德義信用を重んずるやうになれば、兩者の間の了解は明らかになつて、新聞記事は愈よ信憑するに足るものとなつて參りませう。

時事週評

□兩陛下御精勵　七日天皇陛下大演習御統裁の爲め、九州に向け御發輦の前後を以て、兩陛下には文展に行幸啓あり、皇后陛下には女子高等師範、高等蠶糸學校等に行啓ありて、軍事、學事、美術等各般に亘る御奬勵の意を示し給へるは、畏こき極みであります。秋天高く澄みて、野には收獲の歡聲聞ゆる時、この年の收獲を稱へて、更らに播種に力を加へよとの思召とも仰がれて、我が家族的の國風の親和な有難き事に思はれます。

□米國大統領選擧　四年に一回行はるゝ米國大統領改選は、七日愈よ行はれたる筈にして、未だ其の結果を知る能はずと雖、近日來の形勢はヒユーズ氏十ウヰルソン氏七の割合であると申します。殊にこの選擧に對して興味を惹く事は、選擧權を有する十二州の婦人によりて新らたに組織されたる婦人黨が、婦人參政問題に關して、ウヰルソン氏に反感を抱き極力妨害を加へ居るとの事であります。人はウヰルソン氏を以て平和の愛好者とし、ヒユーズ氏を以て帝國主義者として、この一戰により平和主義勝つか、帝國主義勝つかに在りとするも、婦人の立場からは、大に其見地を異にし、ウヰルソン氏を以て眞の平和の愛好者となすには、未だ大なる缺陷を感ずとなすでありませう。

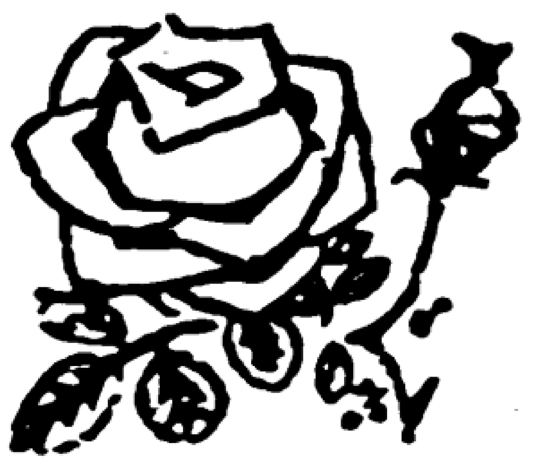
二

□教育者と廢娼問題　近く催されたる第一高等女學校同窓會に於て、同校教頭市川源三氏は、「教育上より觀たる廢娼問題」（別項掲載）につき、一場の講演を試みられましたのは、珍らしい事だと存じます。教育が單に學校内に於て行はるゝに非らずと稱ふる教育者等は、稍もすれば子弟の訓育上看過すべからざる社會の問題に就て、甚だ冷淡に過して居るのを常として居ります。然るに市川氏が凡ての情實を排して、日頃の研究を同窓會上に發表せられたのは、最も處を得たるもので、この種の問題の適當なる解釋によりて、學校は既に社會に出でし同窓生等と力を併せて、世の風潮の改善を計るは、最も忠實なる子女の教育を行ふものといふ事が出來ます。

* * * * *

ヒユーズ氏當選　この週評を校正せんとする時、ヒユーズ氏當選の號外を見ました。氏は禁酒禁煙主義の人でないと云へば萬國の矯風事業に盡瘁する人々にとつては、氣の毒な事です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



存娼か廢娼か

女子教育者の立場から

東京府立第一高等女學校教頭　市川源三

□男子の婦人觀の變遷

男子が婦人に對する考へは三段に變つて行く。未婚の頃は女といふものを只何となく興味あるものとして取扱つて居り、美しく柔順であればそれが何よりであると思ふ。結婚してからも同じく柔順で、よく働らけばよい妻と滿足するのであるが、愈よ子供を持つと、只柔順であり只働らく丈けでは不足を覺えるやうになる。子女の教育者として、もつと考へがあつてくれゝばよい、もつと人格があつて欲しいといふ事になり、女に對しい理解が覺醒して來るのである。更らに娘を持つと、其の男子の婦人觀は明らかに正しくなり、女に對する權利尊重の急務をひしひしと感ずるのである。男子が婦人問題を論ずる資格は、此の時初めて生ずるので、其の以前の男子には痛切にも、眞劍にも論ぜらるべきやうはないのである。然るに多くの場合は、男子が不眞面目に婦人問題を論じ婦人はこれに依頼して一向是非曲直を問はないのである。これが我國婦人の發達しない原因の大なるものであると思ふ。尤も婦人にして大膽に婦人の權利を主張すれば、或は男子の指彈を免れぬであらうが、かゝる男子は多くは惡意ではなくて、理解の乏しいのによるのであらうと思はれる。

□存娼か廢娼か

娼、即ち貞操を賣つて生活して居る者に對しても、近來私娼撲滅、公娼廢止と云ふ聲が盛んに起つて來たが、かゝる問題は大に婦人に注目を促し、其の力によつて解決せらるべきものであると思ふ。私は女子教育に從事する立場から、茲に意見を述べて見たいのである。理想から云へば、當然娼の全滅を計るべきで、公娼廢止、私娼撲滅の何れも誠に結構な事ではあるが、其の理想に到達せんとする迄に其の解釋を求めるのは、甚だ複雜な困難な事であると思ふ。例へば盜賊は國家の政策上殘して置いてよいと思ふ者は、恐らく一人もあるまいと思ふが、濱の眞砂が盡きても盡きないのは、五右衛門時代から、今日迄少しも變らないといふのと同樣、娼も恐らく人間の有らん限り盡きない事であらうと思ふ。然しこの場合私は或人々の論ずる如く存娼制度にしなければ、男子の放縱なる性慾は、或は良家の子女を惱ますに至るであらうといふやうな、更らに根底のない事は申したくないのである。飲食の慾望が、間食の習慣をつくれば、病氣になる迄も愈よ募る如くに人間の性慾も謹愼の箍が緩めば、増長するのみであるので遊廓のない地方の方が、風儀は正しい事は、既に事實上にも例があり、自然の心理上からもさうあるべきである。

また事情によつて結婚が出來ない場合、男女相接しない時には生理上有害であるなど、二三の學家の説もあるが、これも全く想像の説で、確かな根據ある論ではない。獨身者が、往々にして性質が變化するのは、必ずしも生理上ではなくて、心理上社會上、寂寥を覺ゆる所から來る事が多いので、もし其の人々が公共の事業等に携はり、人と交渉の多い生活を營めば、心身の上に刺戟が多く、敢て病的に陷るものではないと信ずる。

□訓練を要する貞操

然らばなほ社會に娼の存在すべき理由如何と云ふに、男女間の貞操觀念の、嚴密になるのは餘程の訓練を要するので、動物や下等社會には無理な注文であ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ると思ふからである。恰も忠義の徳が何人も美徳と思つても行へず、赤穗義士の如きも、三百有餘の臣下の中から、僅かに四十七人がそれを體現したやうに貞操の徳も亦普遍的に行ひ難ければこそ、古來これを美徳として敬意を表して居るのではあるまいか。下等社會に於ては、甚だしきは女房を七錢で賣つたといふ實話等もある程で、妻は夫と同居して居れば、貞操を賣つても姦通とは思つて居ないといふ甚だしい社會もあるのである。而してかゝる事情を理解せずに直ちに一筋繩を以て準せんとするは、社會救濟の道にあらずと思ふのである。

□日本も實際女が餘る

次に我が日本は婦人が男子よりも數に多ては少きも、實際は婦人が餘つて居るのである。統計の示す處によれば、明治五年より大正二年迄女百人に對して男百二もしくは百三人であるが結婚年齡が男女の間に三つ五つ乃至二十違ふので、從つて婦人の數が夥しく餘るに至るのである。假りに十五歲から四十五歲迄の男女に就て調らべると、女が一つ年若で結婚すれば、女は不足し、二つ若ければ平均し、三つ違へば女は餘り、五つ違へば實に六十萬の女が餘る譯になるのである。歐米諸國に於ては人口上からは女が餘つて居るが自由結婚の結果、男女の結婚年齡の差異が少い計りでなく、年長の妻を娶る事が尠なからぬので、其の調節が計られて居る。實際日本の今日の如く十、二十の夫妻の年齡に相違があつては眞の理解は、夫妻の間に行はれぬ計りでなく、社會政策としても喜ばしい現象ではない。

□女の墮落の徑路

それは別問題として、女が餘つて若い女が澤山に遊んで居る殊に十九世紀から機械工場が出來た爲めに家庭の仕事も亦分業が行はれて、社會的に營まるゝやうになつたので、女は愈よ暇になつた。暇があれば自然外出し、外出すれば化粧もし、贅澤にもなり、その結果は生活が困難になるのである。而して生活難が差迫れば、普遍的でない貞操は直ちに亂されて、娼を營んでも生活を支へんとし、遂に墮落する。日本等に於ては、身を賣つて親の窮困を助けるといふ事を衷心道徳と考へる社會もあるので、墮落の程度は西洋程劇しくはないかも知れぬ。然し何れにしても經濟難が其處に至らしめるとすれば、彼れ等を救濟するには、先づ職業を與へ、且つ男子と同力量のある者に對しては賃銀も亦均等ならしむるやう婦人の權利を擴張しなくてはならない。

□國家百年の計に非ず

もし廢娼運動を唱導せんとならば、其病源に溯つて、結婚年齡の差異を減じ、男女職業上に均等の權利を與へるといふ根本治療を施さずして、之れを說くは無意義な事であらうと思ふこの六月警視廳に於ては、私娼撲滅を斷行する事となり、昨今表向きには私娼は大分姿を消すに至つた。而して當局の意見は、青年をあゝいふものを殘せば、墮落の淵に誘惑するものであるといふ。さらば公娼もこの點は同樣の弊害を免かれぬ。然し問題は外で、私娼は稅金を課せぬもの故、警察の力で檢徵を行へぬといふにあるが、惡疾の傳播さへなければ、私娼を殘してもよいといふのでは、根本問題に觸れて居らぬことである。殊に公娼に於ける檢徵制度の如きも甚だ不完全にして、惡疾を豫防する爲めに効力の薄きは、專門家の口を揃へて云ふ所であれば私娼の檢徵の行はれざるを難ずるは、五十步にして百步を笑ふものである。且つかくの如く唯物的に計り觀察するは、國家百年の計ではない。

□女子教育者の立場から

私は教育者の立場から、寧ろ公娼を先づ廢止すべきであると

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

思ふ。私娼も淺草六區の如く、營業的に營んで居つては、何等公娼と異らないのである、彼れ等の多くは、何圓と云ふ前借金で買はれて來て、非業なる男女の營業主が懷を肥やす爲めに公然と肉を鬻がしむるのである。既に公娼を廢止すれば、勿論今日の如き私娼制度も廢止さるべきでもし餘儀なく娼が殘るとすれば、今日の如く公然たる遣り方は避け、內密に、且つ各自の自由意志に任せる方法を取らなければならぬ。其の方法等に就ては尙研究の餘地があらうと思ふが、このやうにして國家が存娼を保護する事を止めるのが必要であると思ふ。然ざれば學生に貞操觀念を如何にして明かに正しく持せる事が出來やうか。一方には貞操を強ながら、他方には貞操の切賣を國家が認むるといふのは、いかにも撞着した話である。國家としても、既に賭博を禁じて居るのであるが、貞操を切り賣りする事に、公許を與へて居るのは國家道德を認めないと云ふものである。男女相愛の間には貞操は自然の德である。もし貞操を守れぬ連中ありとするも、國家は政治、國防と同樣、彼れ等に墮落の便宜を與へる事は無用ではあるまいか。勿論前にも申した如く、貞操は一般が持ち得べきものでないとして、娼は殘るべきものとすれば、そは私娼として止むを得ず存すべきで、止むを得ない處は國家の仕事が及ぶべきではないのである。而して一方、公娼廢止を叫ぶに於ては、根本の救濟法たる男女結婚年齡の接近を計り、女子に職業を解放し、其の賃銀も亦男子と均等ならしむるやう社會上の改善を計る事を先づ努めねばならぬのである。

(第一高等女學校同窓會席上に於ける講演大要)

(一人一評)

山脇玄

▽官僚的といふ言葉は、いつよりか顏の筋肉一つ動かさず、威嚇的の態度を持つた人に冠らする形容詞となつた。そして役人と名の付く者は、いつの間にか大方この型に嵌まつて、これでも人の父か、夫かと、思はせる冷たい感じを與へる。

△法學博士山脇玄氏は、行政裁判所長といふ嚴めしい役柄を多年持つて居られたと云ひ殊に婦人界に牛耳を執れる山脇高等女學校長房子女史の良人と聞いては、どんなに尊大に構へて居られるかと想像されるが、會見第一の印象は、非常に平民的な謙遜なそして暖かい方である。

▽此の頃各種の雜誌に盛んに掲げられる氏の意見は、訪問記者に訪はれて嫌々話したものとは大に異つて、兩三年前退職して、閑散の身となられると同時に、今日の社會上第一に注意すべき婦人問題を熱心に研究せられ、其の研究の結果を止むに止まれぬ熱誠を以て叫ばれるものである。

▽其の說たるや誠に青年の間にも稀れに見る新らしいものであるが、そして少しの妥協も許さず、極めて徹底して居るのは驚く斗りである。貴族院議員、法學博士の肩書を持ち、夫人は女學校の校長であり、令息は先頃山梨縣知事になられ、一家一門の榮職と共に、通例ならば事勿れと、口を緘する位置に在つて、わが婦人界の爲、大膽なる叫びを續けられる氏に對して、私共は多大の敬意を拂はざるを得ないのであります。(エム、ケイ)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

蘇生の喜びを樂壇に奏する

久野久子女史

□恐ろしき昨年の夢

都大路にざよめき渡りし春の歡びも漸く更けゆかうとする一月廿一日の夜のことであつた。星の光り淡き葵橋の夕暗の中で一人の貴婦人が自動車にひき倒されて人事不省に陷り、その人が樂界の天才と謳はれてゐるピアニスト東京音樂學校の助教授久野久子女史だと分つた時、斯界の人はどんなに悔しいことに思つたことであらう。その重症だと報じられた時など、女史の繊弱き指から彈き出される力强いあの妙音は再び聞き得ないものと、多くの人は中ば絶望的に悲しくも諦めてゐた。

『え丶、あの一週間ばかり前にお求めなすつたピアノね、あれの前に坐つて鍵盤を打たうとなさると、何かしら引き入れられるやうな悲しみが湧いたんですつて。虫が知らしたとでも言ふのでせうか、何だかあのピアノにも因緣があるらしいんですつてね……。』と果てはとり〴〵に此樣な噂まで立つやうになり、女史の主治醫の顏も暗く〳〵曇つた。が夫れは昨年の夢となり來る十二月の三日には快復祝賀の音樂會を上野の音樂學校で催されることゝなつた。

□水清き琵琶湖畔の生立

『人間の運命は定つてゐるやうで、それでゐて解らないものでございますね。私は昨年の遭難を加へて三度も恐ろしい目に會つてゐますの。一度目は二つの時、二度目は二十四の冬から二十五の春にかけて、三度目が昨年の正月の自動車の事件……』さ女史は此樣なお話をなすつた。女史は十二月も既に日數の少なくなつた二十六日に、水清き琵琶湖畔に生れて父母の愛を身に集めて大きくなられたのであつた。がその二つの歲の春、心なき子守はふさした手落ちから鎭守の社の三十幾段かある石段の幾段目からか轉がし落し、生れもつかぬ不具な身さして了つたのである。その二度目は音樂學校をお卒業になつた後、左の人差指を瘭疽の爲めに手術し、普通の人ならば當然切り捨つべき所を辛じて腐りし部分を削りながら助け、鍵盤を押すに差支へなき迄に全快されたのである。三度目の自動車の時は後頭部は皮が破れて骨が露出し、左の耳は後が破れて垂れ下つたさへ聞くに今は跡もなき狀さなり、一度ピアノに指が觸れるさ限りなく妙音がほとばしり出る。

『私は二つの年からちやんさ鎭守の產土神さまに運命を定めて頂いた譯なんでせう。こんな身體ぢや他にするこさがないんですもの。』さ女史は仰有つて、晴々しく微笑なすつた。

□女史の豊かな表情

ジツと見てゐると京人形のやうに美しい女史は、もう三十二歲だと言ふ。その豊かな表情は時と所によつてさま〴〵の姿に見せるので、この夏頃さる田舍人が、

『いまピアノを彈いたお孃さん

六

のう、あの人たあ、まだ十八九だんべいに、えらう大きな音を出させなはるなあ。』と感心したとか、普通のお話をしてゐる時などにも、三十以上の方とは決して思はれない。と言つて二十五六、七八、と考へても夫れがすべて當らないやうな氣もする。どうかすると十八九、と言つても、何だか夫れも眞實のやうに思はれる。

『私、幾年に見えまして。もう三十二よ。』などゝ言つて、小供らしくお笑ひなさる。

『どうにも分りませんわ、小娘のやうにも見えれば酢いも辛いも心得切つたお姉さまのやうにも思はれるし、』と私が言つたら

『人の宜い親切なお婆さまにもね……。』と混ぜつ返し、そして今度は甚く眞面目になつて、

『全く、或はさうかも知れませんわね。ピアノに向へばあの鍵盤一つで或る時は子供の感じを出さねばならないし、或る時は老人の心を浮ばせねばならない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さうするには自分がまづその心になつてゐないと出ないんですから。よく偉大な音樂家は申しますわね。赤坊から白髮の老人までの感情を心にまづ湛へるのでなければ眞實の音は出ないつて。どうか其樣になりたいものですわね。」としんみりと仰有るのであつた。

□演奏する世界はの大曲　女史が初めて志を立て、都の空にその身をお運びなすつたのは十八の歳の八月末で、幼き日よりその時までは、青葉に包まれた京の都で、松吹く風に音を合はせてひたすらに琴の音に親しんでゐられた。不自由な身となられてからは、わけても幸多かれと祈る親御は、せめて琴のお師匠さまにでもなつて此世を幸福に、と思はれたからでせう。十八の秋音樂學校の豫科に入學し、翌年修業なさると病ひの爲めに一年休學して二十の年に本科に入學、そして三年の後ピアノを首席で御卒業なすつたのである。

『恥しいことながら豫科へは假入學で這入り、修業の時は終りから二番でございましたの兄がよく笑ひますの、待ても〳〵久野久と呼ばないだらう、どうしたんだらうと思ふとやつと呼ぶのさ、そして其後で何やらモチャ〳〵と小な聲で一人呼んだと思つたら終つたので、僕は思はず顏が赤くなつた、つて。私が音樂學校へ這入つた時は大膽にも尋常四年を卒た許りなのでございましたから、色々の喜劇も起りましたの、そしてピアノも九月二日に入學試驗を受けに行つた時始めて洩れ聞き、琴だらうと思つたほどの田舍ものでございましたから……」と言葉を切り、ですもの何が出來ませうと美しい眼に語らせてゐられる。ピアノと言ふものを知つて眞實に稽古をなすつてから漸く十年殊に西洋人すら恐れるやうな大曲をも安々と彈じ去られると聞く。回復祝賀の音樂會には世界の大曲と目されてゐるベートーヹンの熱情奏鳴樂、ショパンの大司伴樂、リストの匈牙利狂想曲などの八曲を一人で彈じられると言ふ。

『向ふ見ずの少し大膽な企でございますが、皆さまの御厚意に甘へて懸命で努力する積りでゐます」と。お別れする時に生々とした眼で私を見送られた。(民子)

(久野久子女史の近影)

噂

▲此の寫眞の久野女史は、紫紺の絽縮緬に蝶の胸高模樣を召して居られます。この蝶は亡き父君が女史を愛づる餘りに、自ら意匠して、幼な衣裳に作られたものを、餘り美しいので、見本にやつて染めさせたものださうで一つ一つの蝶が、何れも異つて居ります▲東京に協同傳道の行はれて居る眞最中其の費用中に無名で金のピンを寄附された方があります。これはきつとお金のない方が、眞心溢れての寄附であらうとて、五圓と値付けしたものを、某氏が三倍即ち十五圓で買ひ取られたさうです。探索の好きな一人が其のピンの寄附主を尋ねると、故本多庸一氏夫人貞子刀自であつたと云ふことで買ひ取つた人も自分の考への敢へて空でなかつたことを満足して居られるさうです。▲花の日會で九段を受持つて居られた吉岡彌生女史は、當日の總賣上の四分の一に當る一千七百餘圓を賣り捌いて、第一等の賣上を得ました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

田園の秋

廣田花崖

□秋晴に映ゆる柿紅葉

寒い朝だ、霜でも降りはせぬかと思つて障子を開けると、北側を西の丘へと走る小松林の緑が大分黝ずんで硬ばつた色になつて來た。チエツ／＼と何やら知らぬ小鳥が小寂しく鳴く聲に交つてポツ／＼と枯枝を折る音が聞える。隣の籬外に小松の林を背景とした桑畑の少し黄ばんだ向ふに幾株となく柿の樹が、秋晴の空に深紅の火焔をパツ／＼と揚げて居る。時々ゴーツと風が通る。秩父連山の頂から西武の丘陵を驀ぐら走つて相模の海へと出るのだ。ゴーツと過ぎる。其度に葉綠素の減つた草木の葉が百姓の掌を擦り合せるやうにカサ／＼と鳴る。さうして後は自然が物忘れでもしたやうに默然と靜まり返る。西武の高原は今し秋の最中に立つて居る。

□鍬振る乙女

彼處是處の村々で豐年を祝ふ秋祭の太鼓の音が祭りの噂と共に消える頃から、百姓は又蘇つたやうに忙しくなる。野面は播種收穫の人に賑つて鍬や鎌がピカ／＼と秋晴の美日を照り反へす。都なら君子のやうに濟し返つて箸より重い物は持つたことも無いやうな顏をしたがる娘盛りの十七八が、色氣なしの筒袖に股引姿で鍬を振り廻す。何處から見ても頑丈作りの、少し距れては男か女か乃至は年の程さへ分らないけれど、併し殊勝らしい戀は其赤い襷の下に包んで居る。都住居の所謂お孃さんが此姿を御覽になつたら何と思召すであらう。此妙な姿を笑ふであらうか。或は安逸を貪る其身を恥づるであらうか。乃至は花やかな己が身の幸福を誇るであらうか。私は時々斯んなことを思ふことがある。

□唐臼の音

麥が蒔き終へると田舍は又一種の空氣に支配される。試みに秋風蕭々たる夕田舍道を徜徉いて見やう。彼方でも此方でもゴロ／＼、ゴロ／＼、花やかな歌に交つて賑やかな囃聲が聞える。籾摺をして居るのである。ゴロ／＼するのは唐臼である。二三人の人が籾を捉まつてそれを廻す。一人が籾を入れる。摺り出された籾は唐箕で米と粃と籾とが吹き分けられる。奇麗になつた米は俵に這入る。何千億粒の細塵が容赦なく人の體に付く。體につくと云ふよりは人が塵埃の中に住んでると云ふ方が更に適當であらう。併し夜である。夜の色は總てを一色に包んで人は塵埃を氣にしない。それに人々の心は今し收穫の悅喜に充たされて居る。汚いさうして非衞生的な塵埃も併し之を滑稽化する程に彼等の心は樂しんで居る。此悅喜の中に稻は米になるのである。

□嬉しき其空氣

見來れば田園の秋はそれ自身詩である。雜然たる景物、噪然たる騷音の中にも呂律整然たる歌がある。併し、併し秋の田園に嬉しきは其空氣である。晝間尙月を見せる其透徹の空氣である。秋の野に立ちて肺の極底迄此空氣を吸ひ込む時、私は田園生活の幸福を謳はずには居られない。野面に漂ふ此空氣を小包にして送ることが出來たなら、私は恐らく都の人に對して秋のたよりを書かぬであらう。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今日になる迄

若き婦人の職業案内

専門の職業を營んで居る婦人が「今日になる迄」如何なる經歷を經、辛苦を積まれたかは、やがて若き婦人が自分の職業を撰ぶ案内になるであらうと存じます。以下號を追うて各方面の職業婦人の實歷や意見を此處に揭げて、成るべく徹底した婦人の職業研究を致したいと思ひます。讀者の方々も御質問や御意見を御遠慮なく御申越し下さい。

女醫になるまで(一)

吉岡彌生

□最も體力の要る仕事

私の「けふになる迄は少し異例で、當時の若い方々の御參考にならぬでせうから、それは外の方にお讓りして、此處には、女醫になる迄の一般に亘つた事をお話し致しませう。一體家の娘は我儘で無綺量でお嫁にもやられないからとか、又身體が弱くて、他家へ嫁ても居られさうもないから、いつそ女醫にでもなつたらと云ふ樣な考へを以つて居られる人を世間に見受けますが、女醫はこんな人間の屑のやうな人達で出來るものでは決してなからうと思はれます。醫者は常に感情の鋭敏くなつて居る患者に接近して、それ等の人々の感情を柔めて親しませ、柔順に自分の云ふ處を信じて行はせなければならないのですから、少なくとも何時も明るい心を持つた、柔かい溫味のある、人に接して快感を與へる事の出來るやうな人でなければなりません。而して患者よりも一歩高い品性を備へて、患者が信頼するに足りる丈けの人でなければならないのです。即ち溫和で崇高さと慈愛さを兼ね備へて居る人でなければならないのです。次に健全な身體です。醫者は大切な人の生命を預つて居るのですから、一瞬時も安逸の時がありません。夜々中でも患者があれば時を移さず出掛けて行かなければならないのです。一年の中に病家を訪はない日となつて居るのは、正月の元日一日ぎりで其の他には定期の休日は一日もありません。ですから最も健康な身體と云ふ事は醫者としての資格に無くてならないものです。

□獨學は不可能

女醫として世に立つに最も近い道は學校に入るのですが、それも今日では講習所の如なものも廢くなりましたので、唯だ私の女子醫專があるばかりです。其の他獨學とか苦學とか云ふ事は手藝等の學習と異つて全く不可能です。高女卒業後四ヶ年間は學校教育を受けて、以後二ヶ年は少なくとも、研究を續けなければなりませんが、高女卒業後の專門教育に要する費用は普通の專門學校と同じく一人前一千圓内外で濟ます。それから研究科に入つて、最初の一年間は私の學校では寄宿舍の食料だけで授業料もなしで研究させる事になつて居りますがこの時か

九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らは學生でなく、醫者として取り扱つて居りますから、交際其の他醫者としての體面を保たせる爲めに、月々二十五圓位は父兄が送金しなければならない樣です。然し第二年目には、學校から衣食に足るだけの極く低廉の俸給を出す事になつて居りますから、家庭からの送金の必要はありません。

□修業後の奉職

そこで修業後奉職致しますと東京では、食事等は病院持ちで月給三十五圓、地方では五十圓支那朝鮮等は百圓位ゐと定めて居ります。或る人は、餘り俸給が高過ぎると云ふ樣の事を申しますが、私は女であつても、男と同一の技術があれば、當然同格の俸給を受くる事が至當だと思ひますから、殊に地方等へ女醫を送ります時には、技量の充分ある人を撰んで、至當の待遇を與へて貰ふ樣にして居ります。而して地方の病院等に得て有り勝ちの、手當てが少なくても働くから女醫を雇ふと云ふ樣な弊風を根本的に除き度いと存じて居ります。外の事ならいざ知らず人の生命を預る醫者に男も女も無い筈で、日々夜々女も男子と同樣に技術を磨いて參らねばならず、其の爲めには書物費や、機械費、體力を養ふ充分な生活費等が要るので、女だから少くてよいと他の社會のやうに俸給の相場を下げられては大變です。實際俸給等の物質的の事をとやかく云ふと思ふかも知れませんがこれがやがて女子の職業上の自重心を養ふ上に缺くべからざる事であると思ひます然し專門の手について居るのは有難いもので、開業の女醫などを見ると、初めて一人一人に價値ある女を見る心地が致します次には愈よ開業するとなつたらどんな準備が要るか、土地は何處がよいかに就て述べて見ませう。

儉約物語（一）

氷砂糖の茶菓子

京の新町と云へば、何れも塗格子の舊家大家が軒を列れて、京の中京とよばれ、人の羨望の的となつてをりますが、そつと其勝手口から其内容を洩れ聞きます時に、そこには寧ろ滑稽味の多い儉約物語が數限りなく潜んで、其表裏の甚だしい差別に隨分驚かれる事が御座います。先づ其の一例としては、この町のさる舊家の奥座敷には、いつも來客のある度に大きな菓子鉢にあまるほどの一塊の氷砂糖を振舞ふ例になつてをりますが、さて來客の身になるとあまり大きいので流石に手を出しかねて其儘に[illegible]遠慮されるので、其氷砂糖は依然として一年一日の如く、何十何百の御客樣に接してをりましたが、此處にいつも來る一人の旋毛曲りの客がありまして、或日半紙を用意し、件の氷砂糖の出現を待ち早速其大塊を手に取り入念に火に掛けますと、流石の大塊もパチ〳〵と音を發して、恰も手頃の幾塊かに粉碎したので、これは〳〵御馳走樣とさう〳〵主人唯一の考案を征服してしまひました。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女中の使ひ方

先づ撰び方から始める

佐久千代子

口田舍から呼ぶ

お尋ねによつて未熟な經驗をお話し致しますが、女中の使ひ方や躾け方は第二であつて大切なのは女中の撰び方であらうと存じます。私共では田舍の實家に頼みまして、性質の良い健康體で、必ず小學校卒業程度の者年齡は拾五六歲位でも宜しいと云ふ條件の許に選んで貰ひまして連れて參ります。山家育ちの無作法者を、一通り役に立てやうとするには、子供を世話すると同じ樣な氣持ちで、滿一ケ年過ごさねばなりませんが、當人も見る物聞く物凡べて珍しい爲か、本氣になつて覺え樣とする處に張合が增して參ります。見付かる迄では一寸隙の取れる事も御座いますが、俗に女中運の宜しいとでも申すのでしやうか、何時來る女中も能く働いて大抵四年目五年目に歸國しますが、歸つてからも音信は絶えません。

口家族の一員の如く

使ひ方としては、先づ精神上の慰安を與へます。女中に友達の有る事は、それが良友なれば論は御座いませんが、どうも凡べての事に氣をそらして、兎角良い事は無い者で御座います。其田舍から連れて參りますと、其が少ない爲又一方から申せば大變當人に取つては淋しがる者で御座いますから、女中と云ふ念を去つて家族の一員と見做し、色々特別に情を込めて話をしてやる事を第一として居ります。

口低給を補ふ爲めに

次には物質的の慰安ですが、日本の女中は西洋の皿洗ひ杯さ違つて、極く低給に甘じて働いて居る者で御座いますから、月給の外に又折々は物質上彼等に歡びを與へねばなりません。而し何れにしても之が程度の問題で、餘程むづかしい事になります。例へば精神的慰安を與へるにしても、甘い言葉が多くなれば、友達氣取りで敬意がなくなり、又物質方面から申しても機會を捕へて物を與へませんと、却つて惡例をつくり、謝意を失ふと云ふ事にもなりますから、一年の中でこんな風に定めて置きます。長逗留の客の後主婦が止むを得ぬ事情で長く留守、した時（例へば歸國でも致した場合）及び出產後とか、家族に病人があつて全快した後とか記念日とか云ふ時に、慰勞として相當の品物なり金子なりを場合に應じて與へます。又盆暮には一ケ月分給金に相當する品物を與へる事として居ります。また外に每月の屑代は其の度之れを女中の小遣ひとしてやりませず、貯金して置て盆暮に際し、賞與に付けて、餘分の物を與へますが、之は目立つて確かに滿足を得させる方法と存じます。又臨時には娛樂の爲の外出に土產物として五十錢以上一圓止め位の品、及び時候の變り目には見切物なり主婦の不用になる物を遣り常にやらうと思ふた物もこんな時まとめてやります。猶折々來客からの貰ひ物杯も御座いますが、現金は郵便貯金にさして置きます、これは自由がきかぬやうに、不動貯金にして置く方が宜しいかと存じます。又人間十五六歲と申せばだん〳〵成長盛りに向ひますので、飮食物杯にも氣をつけてやらねば自然卑しく致します故、他家よりの貰ひ物、土產物、又子供のおやつに澤山物を拵へた時杯には、氣は心で御座いますから、必ず少しづゝでも與へてやり、日常の食事は主人側も美食致しませ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

んで代り、女中も懸隔を付けず同様にしてやります。

□仕事の實地教授

小言を避けて實地教授を致し頓て獨りでやう／＼出來る樣になれば褒める事を多くし、其跡で能く頭に理解の出來る言葉で利害得失を話して聞かせます。

一度こんな事が御座いました。小豆餡を拵へる時、私が一寸目を離した其隙に、ザルの中にあるカス計りを殘して、まだ水に解けて居る餡汁を皆流してしまひましたので、とう／＼餡が出來なくなつた、そこで餡はどうして造るものかを能く教へ將來他家に嫁いて再びこんな失態の無い樣誡めましたが、歸國する迄では立派に五月のお柏餅までも獨りで拵へる樣になり、後で大笑ひを致した事が御座います。掃除をさせますにも、疊の目なりに箒を使ひませず、合せ目抔には塵が溜つて見苦しいのを、掃き方を手を取つて教へ、其が出來る樣にれれば、天井の隅々に蜘蛛が堂々と大威張で陣を張つて居る事に注意させ、お伽噺にある怠け者が蜘蛛の巣を拂はなかつた事を聞かして笑はせながら、掃除は上と下とを同じに見て清潔にせねばならぬ事も教へます。御飯を炊くにしても田舍に歸つてから、東京住居の瓦斯計り用ひては煙や塵で困るだらうと云ふ懸念から、其事を承知さして、十日間づゝ、瓦斯、薪、炭を用ひさせて居ります。こんな事は一二の極些細な例に過ぎませんが、使ひ方でもあり、又躾け方でもあるので、其使ひ方と申しても文字で顯はせない調子があるもので御座います。一つは此調子を會得するのが、人を使ふ上に大切な事と考へて居ります。

近來流行の

瓦斯ストーブ

設備の不完全な點

近藤耕藏

□素燒の管

近頃は大分瓦斯ストーブが流行するやうになりましたが、一般家庭でこれが構造に關する知識を了解して居るものが少ないやうです。今最も多く行はれて居るものは、素燒きの穴の開いた管の澤山に並べてあるゝのを瓦斯ストーブの中に入れてあるのであります。從來は石綿の壁に沿つて火が燃えるやうになつて居るのか、或は骨の樣な素燒きのゴロ／＼したものゝ中で、火が燃えるやうになつて居るのでしたが、何れも前者に壓倒されて終つた樣です。なぜならば

十二

家庭お化粧(12)

▼神聖な家庭の象徴▲

▼現代要求の化粧法▲

‖擦るばかりでは駄目‖

‖汚垢を吸收して落す‖

然るに汚垢は擦つたのみで落ちるものではありません、皮脂と汚物との抱合せられたものですから、單に物理的作用の擦る力のみでその皮脂の脂肪分を落すことは出來ません、それで擦つたばかりで汚垢が落ちたと思ひますのは、その時既に其の皮膚の表面、即ち表皮の角質層は無理に剝ぎ去られて居るので、皮脂の分泌によつて營まれる自然の營養作用から來る、皮膚の新陳代謝によつて美しくなるのでなく、無理に必要の而も美しい皮膚を剝ぎ去り荒して了ふのでございます。

されば皮膚を洗ひ汚垢を落しますのは、物理的作用では不可能さいふよりも、美しくすべき

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

これが後者よりも、暖かみが多いからであります。

口煙突から出る熱を妨ぐ

而して素燒の筒の役目は、それが、强く燒けて、輻射熱を增す爲めであつて、これがある爲めに、初めて瓦斯ストーブは其の側に寄つて暖味を覺える事が出來るのです。尤も輻射熱が增したゞけ、他の方面の熱が少なくなる事は見逃す事の出來ない事ですが、世間では稍もすると却て反對に、素燒の筒の爲めに熱が增したのだと考へる人も少なく無いやうですが、決して一定の分量の瓦斯を燃して、其れ以上の熱を出す事は出來ないのです。唯だ此の筒は他のものより輻射作用が多いから、他のものが煙出しから澤山の熱を逃すのを、これは少しゝか逃がさないと云ふに止つて居るのです。

口煙突を用ひぬとすれば

然し現今の日本の家庭で多く見るやうに、瓦斯ストーブに煙突を用ひない事にすれば素燒きの筒の効力は餘程輕く見なければならなくなります。私共の考へでは、切角この種のストーブを用ふるならば、これに煙突をつけて、室内に炭酸瓦斯の蓄積を防ぐのが至當の事であると思ひます。斯云ふストーブを用ひながら肝心の煙突を備へないのは、或る意味に於ての寶の持ち腐れであつて、これならば、普通の瓦斯七輪の上に、鐵網を載せて、熱したのと擇ぶ處が無い譯であります。

故に切角設備する瓦斯ストーブでありますから、煙突をも付けて、室内に炭酸瓦斯の發散を防ぎ、無害のものとして、瓦斯ストーブを有効に用ふる樣にしたいと思ひます。

我が家の 經濟料理

川口華子

口肉饅頭　これは引肉十錢、馬鈴薯五合、玉葱二つ、メリケン粉二合の材料で、優に七八人の惣菜になる至極經濟なものです。先づ馬鈴薯を茹で、すり鉢でよくすり、メリケン粉を入れてこれ、鹽と砂糖少量を入れ、饅頭の皮の如くこしらへ、別に引肉と玉葱を細く刻みたるものを脂にていためて、鹽、胡椒にて味をつけ、先の皮に包みて、脂にて狐色になる迄あげ、ソースをかけていたゞきます。

口豆乳茶碗蒸　豆乳二合、大玉子一つ(小さければ二つ)小鯛一匹、小鯛の代りに牛、豚の引肉を用ひてもよいのです。これだけで七八人分は優に出來ます。先づ小鯛を茹でゝ、身をむしつて、豆乳と玉子を溶いた中に入れ、椎茸を薄鹽にて煮て入れ、其の他好みの野菜を刻み込み、かき回し、コンスターチ(無ければ葛にてよろし)を小匙二つ入れ、醬油、砂糖にて味をつけ、丼に入れて、湯煎にします。十五分位で程よく出來ますから、其の儘膳に上せて、大匙で皿に掬つて出しますと、大層味よくいたゞかれます。

口酢のもの　寒天一本を、水三合に溶き砂糖を盃に一杯入れて固め、庖丁で薄く切り、それに酢をかけると、子供迄大層喜ぶ酢の物が出來ます。これを食用紅や挽茶で色をつければ、更らに目にも美しいものが出來ます。

洗身の作用が、皮膚を荒し醜くすることになるのでありますから、汚垢の本質を知る以上は、その成分たる汚物と脂肪との落ちる作用、而かも皮膚を保護し美化するものでなくてはなりません、即ち化學的作用によつて皮脂と汚物とを吸收せしめ、それを物理的作用によつて洗ひ落すといふ効力がなければ、理想の洗身料とは申されません。

クラブ洗粉は貴重な原料を以て調合精製してありますから、その汚垢を吸收する化學的の作用は十分に備へて、いかなる汚垢でも包容して了ひます、それでクラブ洗粉を溶いて皮膚に塗り、兩手掌で摩擦しながら洗ひまして、十分に汚垢を吸收させた上で、徐かに湯で洗ひ流しますと、汚垢はよく落ち、皮膚は丈夫で美しくなる、石鹼よりも、牛乳よりも遙に勝つた効力のある理想の洗身料であります。

十三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

黄蜂と蜜蜂

花崖

千草花咲くと云ふ秋の野の、よく晴れた溫い眞晝のことでした。今を盛りと咲き誇る野菊の上で黄蜂と蜜蜂とが偶然出會しました。黄蜂と云ふのは例の足長蜂とも云ふよく人を螫す奴で、大の不平家ですが、今日も何やらブン〳〵頻りに不平を云つて居ました。

「黄蜂君何うしたのさ。イヤにブン〳〵して落ち着かないぢやないか。何か氣に入らないことでもあるのかね？」と蜜蜂が靜に訊ねました。

「なあにね一つ何うしても分らないことがあるんですよ。」と黄蜂も芳はしい野菊の上に羽を休めました。「一體人間と云ふ奴君にや隨分親切だが何う云ふものか僕に向ふと眞實に意地が惡くていけない。僕等お互に格好がよく似て居る。お互に羽のある昆虫で、お互に蜜が好きで、お互に怒ると人を螫す。違ふところと云へばまあ僕の體にや黄金色の環があつて君よりや少し綺麗な位のものだが、それで居て人間は僕ばつかり嫌がる。見ると無暗に殺したがる。君も知つてる通り僕は洒々虫で君のやうに遠慮も會釋もなしに人間の家へも遊びに行くのだが、それにも拘はらず奴等羞恥虫の君の方を可愛がつて妙な家を建てゝやつたり冬になると食物迄心配してやる。何うも僕にやサツパリ分らん。不思議で耐らないから一度誰かに訊いて見やうと思つてたのさ。」

黄蜂は業腹さうに又してもブン〳〵と羽を鳴しました。

すると蜜蜂は我意を得たりと云ふ風に口に殘つた野菊の蜜を呑み込んで、

「君それや分り切つてるぢやないかね。」としたり顔に云ひました。

「それが分らないんだよ。」と黄蜂は心細さう。

「ぢや僕の考を云つて見やうかいゝかね。其理由と云ふのは君は些とも人間に對して善事をしないだろう。それどころか反對に惡戯をしたり迷惑をかけたりするのは一人前以上だろう。それぢや人間がいくら好い氣だつて可愛がつてくれつこはないよ。僕を見給へ毎日々々人間に蜜を拵らへてやるので働き續けだ。君もさう始終嫌がらせに行かないで些と爲になるやうにして見給へ。人間が馬鹿でない以上君を好くやうになることは僕が保證するよ。」

蜜蜂の話を聞いた黄蜂は成程と云つたやうな顔采で羽を納めて考へて居ました。

十四

子供の智慧

□母さん何處から來たの

則ちやん(五才)は、不思議さうに『母さん何處から來たの』と聞きます。『なぜ？』と問ふと『だつて、人が母さんの事を奧樣奧樣つて云うだらう、奧樣を貰うつて云ふから。則ちやんの母さん先から則ちやんの母さんなの』と一生懸命に聞きます。

妹

安中花子

我が持たぬ性をば得つる妹と知りにし日より心老い行く
戀もなく悲しみもなき汝にして女廿歳を母と呼ばるゝ
安けさは戀のほかなる心もて君を思へり聖く久しく

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

暗調（二）

てい子

ある夏の夜であつた。母のおつるは休みで歸省してゐた不二と兄の富夫に、狂夫につれ添ふた幾年間かの苦難の過去を話してきかせた。そして今でも血走つた網膜に光りを帶んだ凄い眼を夢にみて驚くことがあると云つた。すまないけれど早く死んでくれたらと幾度も思つた。あゝいふ因業な病氣にとり憑れるなんて前世にどんな罪科をつんだのだろうかと嘆いて「私はお前達のことを考へると死にたくない、長命して二人の健確な成長と終りを見とゞけたいものだ」と云つた。二人は身内に戰慄を感じながら堅くなつて聞いてゐた。焦騒したり喚めいたり子供のやうに駄々こねたりした父親の厭はしい記憶が三人の胸に新しく蘇生つてきた。

その晩であつた。母が床についてから富夫は「不二ちやん、少し外を歩いてみやう」と不二を誘ひ出した。不二は默つて富夫の後に隨いて裏口から外に出た。冴えた月の夜であつた。四邊は靑紗の覆ひをすかしみるやうな月光の中に靜つてゐた。サヤ〳〵と葉ゆれの涼しい玉蜀黍の畑を擦りぬけ二人は田圃道に出た。白い一直の道はぽつとりと黑い八幡社の森につゞいてゐた。不二は泣きたいような心細さを堪へて、俯きがちに先を行く富夫の背を見つめながら歩いてゐた。森の向ふの稻田では蛙がしきりに鳴いてゐた。

「不二ちやん」富夫は立ちどまつて不二と並びながら

「僕はあんな話をきくと、不可抗力な何物かに强迫されてゐるやうで苦しくなるよ」

「私もよ、なんだか私共の血の中に怖しい魔物が住んでゐて、いつそれが暴れ出すかわからないようなのね」

「僕等は强くなろうね、ふじちやん、强く生きようね、怖しい魔物の力を踏み揉つていく丈けにね」富夫は興奮した聲で云つた。

「僕等は自分一人の生命を强く生かしさへすればそれでいゝんだ、人と共に生きる慾望を殺してね、僕達が社會の爲めにつくす仕事は種族的に自分を殺すといふ一事でつきると思ふよ、そして完全に自分を殺す爲めに一層强く生きる必要があるんだ悲しい矛盾だ。

　ふうちやん僕達は戀愛とか結婚とか家庭とかに向ふ眼はかたく閉ぢなければならないよ、愛人や子供につながる普通の人間の生活は避けなければならないよ」

彼は一人で饒舌つてゐたが寂しそうに默してゐる不二を見ると

「お前には私の云ふ意味がわかるの」と問ねた。

「えゝわかるようよ」

「ようでは心細いね、よく解つてくれなければ」と氣を換へたように笑つた、

「不二ちやんは此頃敎會に行くんだつてね、說敎はわかるのかい」

「解つたりわからなかつたりよ、でも大變慰められるの」

「絕對の信仰に生きていかれるなら幸福だよ、然し僕には信仰で解決されない問題がだん〳〵殖えてくる」

「どんな風の？」

「どんな風つて一寸說明は出來ないがね、ともかく僕には絕對他力の信仰を體驗することはできないよ」

二人は話しながら社の裏まで來た。そこに小さい古池があつて、暗碧な死水の面には月光が

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

どんより重げに落ちてゐた。周りの叢では虫がありたけの聲をふりしぼつてゐた。
「我々は人類の腐れた一分子じやないか」
と富夫はつゞけた。
「少くとも腐れる素質のあるものとして社會から怖れられてゐる、種族の改進の爲めには早くもぎ取らなければならぬ危險者として學理上からも一般の人たちからも冷くとり扱はれてゐるんだ。僕はこんな不具な畸形な運命の與へた主に感謝されはしないよ。そりや信仰が現存の自分の心靈には安立を教へてくれやうさ、然し「狂ひ」といふ遺傳性な暴君の手からまで絶對に救つてくれるとは思はれないものね、親爺の生涯をごらん、彼自身にとつて何の意義が……」
富夫はまた亢奮してしやべり出したが蒼い顔して涙ぐんでゐる不二を見ると氣の毒そうに言葉を切つた。
「私だつて諦め式の淺い悟りなんか望んでゐやしないのよ兄さん、でもほんとに強い暖い寄りどころがほしいの」
「僕も絶えずなにかを求めてゐるよ、然し篤く深く求めるものには苦しみと寂しさが必ず附纏つてくる。
多分杜翁だつたと思ふ、我々は各自に神を尋ねなければならない、神に近づくには人はたゞ孤獨に於てのみそれを爲すことができるとか云つてゐる、僕等のような人間はかへつて奥深い自分丈けの世界を築きあげていけるかも知れないよ」
彼は不二の涙を見て言ひ慰めた。
不二はその夜の兄の言葉を忘れることが出來なかつた。柔い胸に強く刻み入れられた言葉を彼女は折てひそかに讀みかへした。「戀愛とか結婚とか家庭とかに向ふ目はかたく閉じなければならないよ」そう云つて妹を訓した富夫の胸にも戀愛の革命があつたとを不二は知つてゐた。
そして海外に去つて行つた兄の動機を自分の心に照し結んで考へないわけにはいかなかつた。
「期せずして二人は同じ道を行く」彼女は荷物を片づけながら人の心の微妙な作用を不思議な想ひで見つめた。そして苛酷に不自然にそれを拒まなければならない自分達の悲しい宿命について考へた。

十六

讀者より

▲神奈川高木鐸子樣より「けさは例の通り横濱迄への電車中にて週報を拜見致し候處、實にくわれながら自分の鈍きには呆れ申候。實にこは一周年の紀念號にて、事業する者の最初の一ケ年の苦心は、一方ならぬものさ、自分の經驗上より常に他所ながらお察し申し居り候ものないさ健かに生ひ立てる一周年の紀念の日を迭々御喜び申し上げず過し、お恥しさ幾重にも御許し下され度候。十年の御祝ひを申し上ぐるよりも一年の御喜びこそ遙かに意義あるもの。此處に心計りの御祝ひお目にかけ候間、御納め下され度候。
「我が助は天地を造り玉へるエホバより來る。」今後の御發展切に御祈り申上候。

▲編者からお禮を申します。かやうな心盡しのお手紙やお祝ひを下されたり中にには門口迄ご態々お立寄り下すつた方もあります。皆樣の身に餘る御好意を心にしめて、この後は一層勵みたいと存じて居ります。紙上の御挨拶を以てお禮に代へます。

新刊紹介

□**現代の修養**（壽山艮海氏著）著者の過去十年間の思想生活の一部であつて、自らの信仰を披瀝したるもの、或は學者或は婦人に道を說けるものであつて、平易に面白く說ける中に、處世上の内的生活の努力、奮闘の俤を包んだもので、修養に志す者のよい伴侶となりませう（神奈川縣生麥龍泉寺發行定價一圓卅錢郵稅八錢）

◉**改良經濟紙**　半紙代用になる物のよい鼻紙で、一帖三錢です。（小石川區原町三番地三英堂發賣本社代理部でも取次ます）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□立太子禮の詔書　三日午前九時三十分左の詔書を御宣布あらせられました。

詔書

朕祖宗ノ遺範ニ遵ヒ裕仁親王ノ爲ニ立太子ノ禮ヲ行ヒ玆ニ之ヲ宣布ス

御名御璽

大正五年十一月三日

宮内大臣　男爵　波多野敬直
内閣總理大臣　伯爵　寺内正毅

□東宮殿下に勅語　賢所大前の御儀に寶劍親授の砌東宮殿下に賜れる勅語は左の通りです。

壺切ノ劍ハ歷朝皇太子ニ傳ヘ以テ朕カ躬ニ迨ヘリ今之ヲ汝ニ傳フ汝其レ之ヲ體セヨ

□大演習地へ御發輦　聖上陛下には、青島陷落の記念日に當る七日、遠く九州の野に特別大演習御統裁の途に上らせられました。

□立太子禮の御盛儀　立儲の御儀に召されたる十一月三日、日嗣の皇太子迪宮裕仁親王殿下には、午前七時高輪御殿御出門、嚴肅なる鹵簿に御英姿凛々しく宮城に入らせられ、賢所大前の儀、三殿御謁拜、朝見式等の御式を滞りなく御終了、午後二時半東宮御所に御遷啓遊ばされました。

□各國皇帝より御祝電　立太子禮を擧げさせ給へる皇太子殿下に對し、御祝として露國皇帝は同國最高勳章聖アンドレー勳章を捧呈し、同時に英佛伊の諸國も夫々東宮殿下に勳章御贈進及び西班牙皇室よりは、皇后陛下に最高勳章御贈進あらせられたる趣に承ります。

□金五萬圓御下賜　立太子禮の佳節に際し、兩陛下より敎育資金として東京市へ金五萬圓御下賜の御沙汰がありました。

□文展に行幸　天皇陛下には藝術御奬勵の思召を以つて、四日上野竹の臺なる文部省美術展覽會、及び日本美術協會展覽會に行幸遊ばされました。同日陛下には美術協會に金百圓御下賜の御沙汰あり、尙ほ同會から『寒山晩雲＝佐久間鐵園、萬歲樂＝森村宜稻、伊勢物語花の賀＝在原古玩』の三點を御買上げがありました。文展出品畫は一日文部省を經て下の五點を御買上げになりました。

日本畫『夕月』＝池上秀畝』、西洋畫『桑摘み』＝太田喜二郎、『夏の内海』＝金山平三、彫刻『晩鐘』＝北村西望、女の顏＝雨田外次郎』

□外宮遷御式　伊勢大廟の黑木造殿の御造營は全く成りて、諸祭も滯りなく終り、愈々五日夜八時森嚴なる外宮遷御式を行はせられました。

□奉幣の勅使參向　神宮へ勅使參向仰付られし掌典河鰭子爵、神武天皇山陵並に明治天皇山陵に勅使參向仰付られし掌典久我男爵は何れも一日東京驛發三日滯りなく奉告の儀を畢へました。

◉波蘭獨立宣布　獨墺兩皇帝は波蘭王國の建設を發明し、世襲元首を置き憲法を發布し、國民軍を組織する事を承認しました其の眞意を伺ふに、獨逸が占領せる地方に對して、行はんとする强制募兵を適法させんが爲めであると申す事です。又同國の國境は獨逸が之を劃定する由です。

◉立太子禮と敍勳　畏き邊りにては故乃木將軍在世中學習院長として、皇太子殿下御敎育上に關し、功勞ありたるを御追念あらせられ正二位を賜ひ、又波多野宮相が東宮大夫として殿下御敎育上に功勞厚かりしを思召され、從二位陞敍の御沙汰を始めとして、濱尾東宮大夫以下に對しても夫々敍勳の御沙汰がありました。尙婦人としては殿下御誕辰早々から、故伯爵と共に御養育申し上げて居た純義氏未亡人、川村ハル子刀自が勳四等に敍せられ、寶冠章を授けられました。

◉御前揮毫の光榮を賜ふ　皇后陛下文展行啓あらせらるゝ際御覽に供すべき御前揮毫者は、日本畫の審査員寺崎廣業、川合玉堂、高島北海、小堀鞆音、小室翠雲、荒木十畝、加之、京都側では竹内栖鳳の七氏と閨秀畫家としては京都の上村松園、東京の池田蕉園の兩女史が其の光榮に浴する事に決定致しました。

◉阪谷男一行の歸京　聯合國經濟會議に參列して歸京途米國を訪ひたる阪谷芳郎男一行は三日午前六時エンプレス、オブ、ジャパン號にて歸朝されました。而して、去る六月十四日より十七日に至る巴里經濟會の決議事項は大體左の三項の由です。

第一・・は現下戰時中に於ける措置

第二・・は開戰後聯合各國の受けたる、商工業及海運業、及其の他の各種産業等經濟上の打擊を恢復する應急手段

第三・・は戰後の永久的措置

にして其具體的方法に就いては、各委員より種々の意見希望等發表せられましたが、個々の實際上の事は、各國適宜の所置に讓り

（一）聯合國民と敵國民との通商を絕對に禁止する事、

（二）各種産業上の設備、及原料資本の自由交換により、戰爭の打擊恢復の迅速な計る事、

（三）戰後互惠的條約により聯合各國の通商を圓滿にするを期する事、

等を決議しました。

◉本年貿易豫想　一月以降十月に至る十ヶ月間の對外貿易は輸出額八億七千八百三十七萬圓、輸入額六億二千二百三十九萬圓、差引二億五千五百九十八萬圓の輸出超過に達しました。これに依つて以後本年末迄の貿易豫想を伺ふに、貿易總額は十八億五千萬圓前後、其の出超過額は三億四五千萬圓を下らざるは疑ひない由です。

◉郵便貯金二億八千萬　最近遞信省爲替貯金局の調査に依れば、全國郵便貯金額に本月二日現在に於て、人員一千四百六十一萬六千二百四十八人、金額二億八千八百七十二萬七千七百七十二圓にして、振替貯金は八萬千九百四十三人、金額一千八百八十三萬二千二百六十九圓、又證券は人員五十三萬八千七百二八、枚數二百九十四萬二千三百八十三枚、金額五千六百七十四萬四百三百九十圓なりと申します。

◉隈侯壽像の除幕式　芝公園大運動場の西隅に建設した、大隈侯の壽像除幕式は、五日午後一時半から擧行されました。像は

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

先年の御大典の際、侯が紫宸殿前に於て、萬歳を三唱した時其の儘の姿で衣冠單に太刀を佩き右の手に笏を持つて居るものです。銅像は石臺からの高四十一尺、これに要した工費は五萬圓の由です。

◉武英殿の寶物紛失　支那武英殿の古物陳列所内の寶物中、寶皿二個、寶鞍一座、眞珠一連時價百八十餘萬元の品物紛失し、目下搜索中との事ですが、之れ等は何れも鐵櫃中に嚴重に保管してあつたもので、他より盜み出さるゝ筈ひなければ、罪人は内務部官吏中の者なるべしとして、責を孫總長に嫁せんとする、一部の人々の陰謀では無いかと解して居るものもあります。

◉黃興氏逝く　宿痾の胃潰瘍の爲めに去月三十一日遂に逝去せらる、黃興氏は湖南省長沙の人で民族主義を唱道し、同志を叫合して屢々兵を擧げて成らず、明治四十四年十月武漢に於ける、第一革命によつて漸く宿望を遂げましたが、大正三年九月の第二革命によつて再び亡命の客となり、身を以て我國及び米國に逃れ、第三革命の氣勢旺んなるを見て今夏上海に入り、今後の政局に對して、故國の爲めに大に謀らんとするの秋遂に斃るゝに至りました。享年四十三

◉日支婦人の親交の爲め　同じ東洋の婦人として、支那婦人との親交を必要なりとして、豫てから其の方面に向つて種々計る處がありました東洋婦人會は、新たに迎へたる支那公使夫妻及び、同公使館員を五日午後二時から、鍋島侯爵邸に招待して、心置きない茶話會を催しました。

◉花の日會　三日の花の日會は正午迄に豫定の五十萬個を悉く賣り切つて午後一時には一同本部に引き上げましたが、當日第一の賣上を出したるは九段の吉岡彌生女史の持場で一千七百餘圓に上り、次は日比谷にて、頗る盛況を呈しました。當日の總賣上げ高は五千二百餘圓なりし由です。尚ほ同會にては去る一日皇后陛下の御思召により金二百圓並に各宮妃殿下より金廿五圓宛の御下賜の光榮に浴しました。

◉婦人記者倶樂部　七日例會を午前十時より赤坂新町婦人矯風會内に開く。吉田清(國民)野口精(新女界)吉川民(ジャパンマガヂン)小橋三四(婦人週報)磯村浩(婦人公論)守屋東(婦人新報)竹中繁(朝日)西川文(眞新婦人)大澤豐(時事)岸田靜(毎夕)順次來會し、午餐を共にしたる後、二三の雜誌に現はれたる名士の婦人論につき意見を交換したる後

婦人の進歩に妨げある人の說は、同盟して成るべく書かぬ事を約し、歡談を盡して午後四時散會しました。

女學校だより

△學習院女學部　來る十三日は開校記念式、翌十四日は在學生徒の父兄保證人を招き家庭會を催す由です。尚ほ開校記念日には、皇后陛下の行啓を仰ぎ、生徒の製作品等を御覽に供する爲め、目下其の準備中の由です。

△女子醫專　一日午後三時から、昨今兩年度の卒業生及び過般開業檢定試驗に合格せし同校卒業生を招き、證書授與式並に祝賀會を催しました。

個人消息

△茅野雅子　六日京都より上京、數日滯在の筈

△野崎勢以子(三越吳服店社長夫人)　昨夏來腎臟病にて治療中の處、去る五日遂に逝去されました。享年四十三。

△柳兼子(聲樂家)　目下懷姙中とて、音樂壇上に起たれず、引籠り靜養せらる。

公娼廢止運動費

本社宛寄附の分(一口金五錢)

石原マス　上村せい(六口)
小計　七口　累計　六百八十二口

編輯室より

▲外は日嗣の皇子の萬歲を呼ぶ聲に賑ひし立太子式當日の三日、親しき友の訪問を受けて、編輯室の卓上は一つの會食場と化し去りました。同人一同は客を併せて十二三人、過去を語り、將來を計つて樂しい一日を暮しました。▲黃菊白菊は野邊から手折られきて今日此頃の編輯室にゆたかな秋の香を漂はせ、同人の疲れた頭を慰めてゐます。

十八

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調查、男女學生品行調査・裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい・面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内(電話番町四五六六番)

人事相談所

婦人週報
(毎週金曜發行)

定價表
△壹部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ヶ月(四部又は五部)金二十錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等(表紙の二、三、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の內側)金貳拾圓

注意
▲御註文は必ず前金の事▲送金の爲替は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷合資會社東京支店
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭衛生講習會

一、目的　家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す
一、場所　赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部内
一、期間　自毎月十六日至次月十五日　月水金　午後二時より四時迄
一、講習料　金十圓也（前納の事）
一、人員　十名を以て定員とす
一、證書　講習修了者には修了證書を交付す
一、　職業として更らに研究し度き方は以後二年間當所に於て實地研究（無料）を積まるれば出願の履歴書に證明を與ふ
一、特典　講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得
一、主催　婦人矯風會東京部會
一、講習主任　醫師藤井孝

右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部に申込まれたし

肝油服用者之福音

最新式の軟質膠球劑絕對に臭氣もなく美味に飲めるは此肝油球である

諸大醫の賞讃

肝油球の特効

- 身體の弱き人
- かぜ引き易き人
- 腺病の人
- 夜盲の人
- 冷え性の婦人
- 肺の惡しき人
- 貧血にて艶のなき人
- 油氣の少ない人

發賣元　東京市赤坂區田町五ノ一
工場　東京赤坂新町三ノ三十二
藥劑師　富谷宗吉藥局
電話芝六二八〇番
振替東京七〇八一番

——體力精力增進に今が肝油服用時期——

高木鐸子考案

鳩印安全下着

大人用　大五十錢　小四十五錢
子供用　カンビネーション　大六十錢　中五十五錢　小四十錢
型紙何れも五十錢

ピーナツトバター　一罐四十錢

婦人週報社代理部
振替東京三一六六〇番

最善なる音譜は最も廉價なり

◉全國第一等の音譜製造會社の肉聲原盤を一枚に精良盤を加へ全部十枚にて

金參圓也

◉これほど安く賣る店は他にありますか？うそか誠か、御註文を願ひます。大勉强を以て御要求に應じます。御注文は一組はオロカ御指定の曲目一枚でも早速御屆け致します。

日本蓄音器商會
帝國蓄音器商會
東京音譜製造株式會社
東京蓄音器株式會社

小石川區原町三番地
（白山電車停留所前）

【特約店】**三美堂蓄音器店**
電話番町四四六一番

發賣元

改良經濟紙四十枚分一帖金三錢他店にて買ふ事の出來ない半紙代用紙があります一度御試用を是非御勸め致します

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町　六二番　**東洋内科醫院**
院長　醫學博士　**高田畊安**
電話ちがさき二番　**南湖院**
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車塲半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど新調同様になります
和洋服　外套インバネス・セル・ショール　東コート
半襟毛皮等のクリーニングと染色を丁寧親切迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館　帝國ホテル　御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際　電話新橋　三一〇八

古本
高價に買受ます
御一報次第何時にても參上します
牛込區早稲田鶴巻町百十一
文學堂書店
電話呼出番町九四一

產科、婦人科、小兒科
女醫　**井出茂代**
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

内科
小兒科　**第一家庭病院**
院長　醫學士　**加用信憲**
牛込區矢來町二十四番地
（電話番町二八〇一）
（入院隨時）

◎產婦人科◎小兒科
宅診午前　往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　**吉岡彌生**
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町　二三五七　**東京至誠病院**

料理講習會
會席料理　毎週土曜日午前中　會費一回卅五錢　束修五十錢
西洋料理　毎週月、金午前中（主として主婦の爲）　會費一回五十錢　束修五十錢
外に主婦以外の婦人の爲
毎週水曜午前中開催
會費一回五十錢束修五十錢
本郷區彌生町三番地
電話下谷六八一五番　**櫻井女塾**

内職を奬勵する
大日本婦人手藝會

本會は一般家庭の内職を奬勵する爲に、編物、刺繍、綿細工、造花、袋物、摘細工等日本婦人に適當な手藝を無料でお教へして、何等の素養の無い方でも、數日の中に賃銀を得られるやうにおさせ申したいのです。製作品は本會で永久に引受けて輸出品とし、一方我が國の富力の幾分をも助け、皇恩に報い奉りたいといふ望みです。婦人週報第四十三號掲載の山脇博士のお説に御同感の方々には最も適當な會と存じます。もし本會の趣意に御賛成の會員が數人一と所にあれば出張教授も無料で致します。
詳細は郵劵二錢封入お申込み下されば規則書をお送りします。
東京麴町區富士見町五ノ二
（靖國神社横）
大日本婦人手藝會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

諸山良海和上新著

現代の修養

四六版上製四百頁
一冊壹圓卅錢
郵税八錢

眞實に自己を徹見するは眞に佛陀を知る所以、此の書は自心の力と信仰と勇氣と智慧とあらゆる心的美徳を發揮して日常生活を靈化したる心の叫びなり、東京の學校と會社と家庭と又は妙齡の女子を相手にして說きたるもの、內的生活の光明を希ふものは讀め。

同師著（第三版）

通俗觀音經講話

菊版五百頁
定價壹圓
郵税八錢

女子の眞美を發揮したるもの即ち觀音の精神と密合す東都の人心は淺草の觀音に西京の人心は清水の觀音に、さては西國三十三所の觀音、皆日本の女性と密接の關係あり、觀音とはそも〳〵？

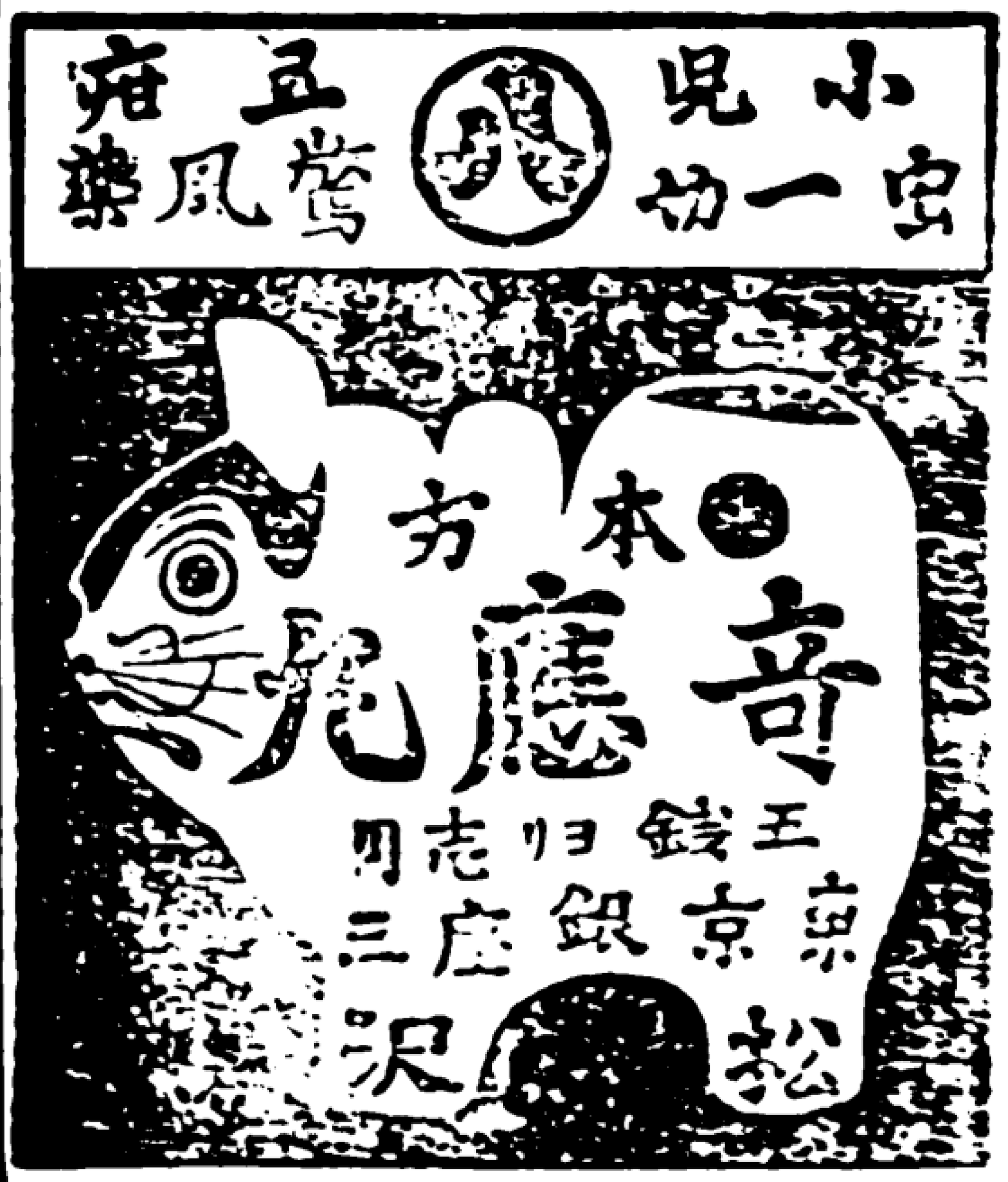
同師著

佛法の根本義

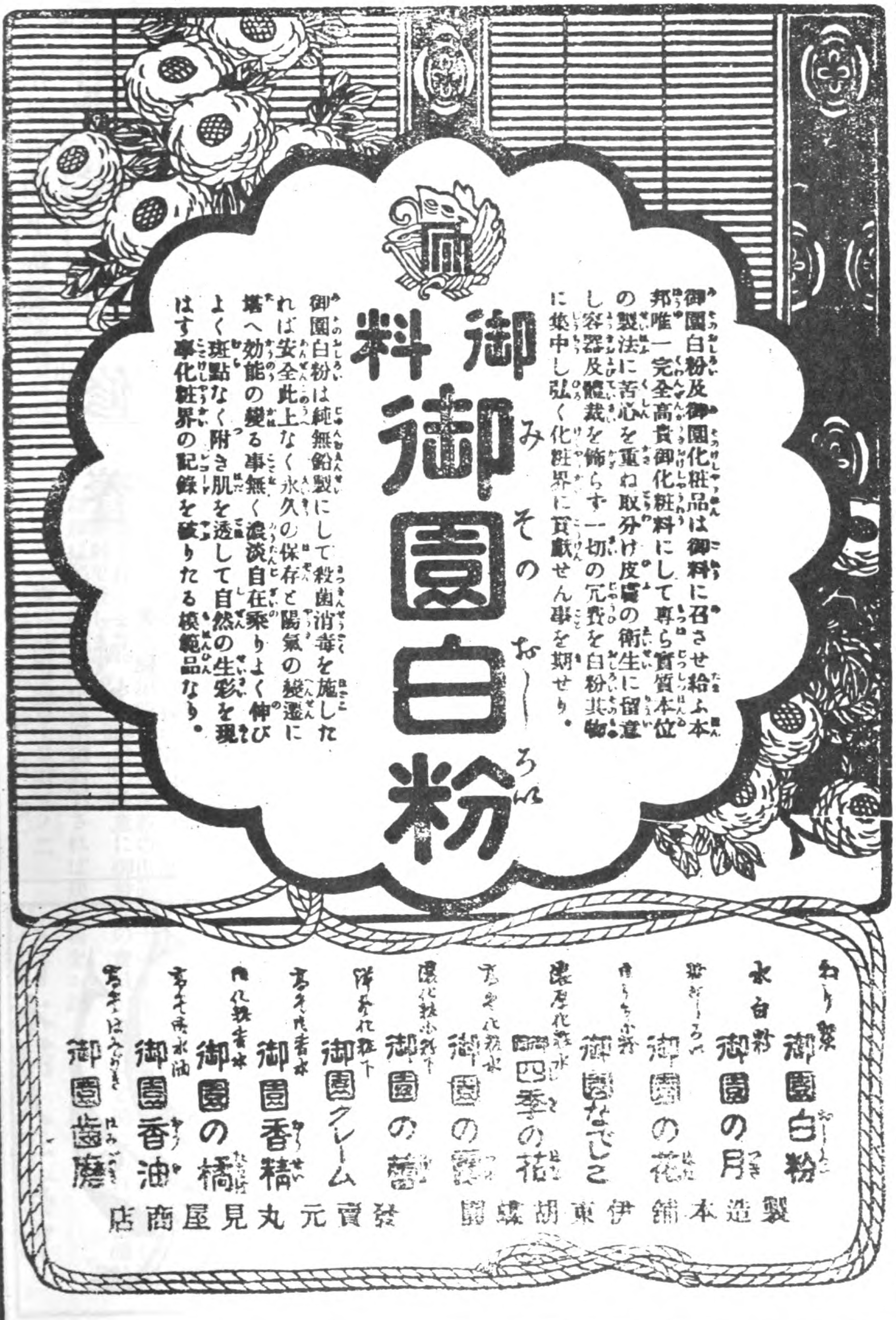
菊版美裝
一冊七拾錢
郵税八錢

兎角に要領を得難く其の眞意義を解し難き佛敎の根本眞理を尤も通俗に婦女子にも分り易く說きたるもの、家庭の好讀物なり。

發行所 神奈川縣生麥 龍泉寺
振替東京貳貳〇貳壹



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社